

## 持続可能な食品物流を目指したプラットフォームの構築

ソフトのプラットフォーム  
2016年5月

《SBM会議(食品物流未来推進会議)》

F-LINE参加企業6社+  

**8社**による製配販課題解決の討議

- ・課題定義明確化、ルール化、標準化
- ・物流効率化へ向けた緩やかな連携

手待ち時間、附带作業、納品方法など  
共通課題解決へ協議

2018年5月  
持続可能な加工食品物流検討会 発足

持続可能な加工食品物流を目指し製配販課題解決の  
ためのプラットフォーム構築

ハードのプラットフォーム  
2015年2月

《F-LINEプロジェクト》



**6社**による持続可能な物流体制の構築  
(3テーマ)

- ① 共同配送 (2016年4月 北海道)
- ② 共同幹線輸送 (2016年4月 北海道向け)
- ③ 製配販課題 (業界全体の問題)

味の素物流  
ハウス物流サービス  
カゴメ物流サービス

現F-LINE  
九州F-LINE

日清  
フーズ

日清  
オイリオ



2019年4月 **F-LINE(株)設立**

- ・物流企画立案機能統合
- ・物流資産共有
- ・3社の物流子会社統合

**全国展開**

2017年7月28日閣議決定 **総合物流施策大綱(2017~2020)**  
『物流の生産性向上』 ⇒ **民間+各省庁の連携による施策の推進**

# 持続可能な加工食品物流検討会

## 1. 活動の目的

本検討会は、加工食品のサプライチェーンを構成する各プレイヤーが物流における労働力不足や環境負荷削減等の社会的課題を共有しつつ、**個社と各層の枠を超えて全体最適の視点から商慣行の見直しを含む業務の改革・改善に資する課題解決策**について検討するとともに、その方策を実証することによって、加工食品物流の**生産性と品質のバランスの最適化**を図り、**持続可能な物流を構築**することを目的とする。

## 2. 参加メンバー

「製」	: 味の素(株)、キューピー(株) <SBM会議を代表して>
「配」	: 加藤産業(株)、三菱食品(株)
「販」	: (株)カスミ、シジシージャパン(株)、(株)マルエツ
オブザーバー	: 経済産業省、国土交通省
事務局	: 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(JILS)

2018年5月 立ち上げ

# SBM会議にて議論の土台とした製配販連携の重点課題「共通テーブル」

## 配送の最適化

## 環境対応の推進

1) 物流従事者に敬遠されない  
現場作り

2) 配送の効率化・平準化

3) 返品・廃棄の削減

① 納品待ち、納品・荷受時間の短縮（ASN含む）

⑩ 賞味期限の年月表示

② 危険作業の廃止

⑤ 納品時間指定の緩和  
（幅を持った時間指定、午後納品等）

⑪ 納品期限の見直し

③ 付帯作業の明確化・抑制

⑥ 定曜日配送の推進

④ パレット積替、バラ降ろしの削減  
（一貫パレチゼーション）

⑦ 繁忙期の前倒し出荷

F-LINE参加会社の取組課題

⑧ パレット・ハイ単位出荷の推進

⑫ パレットオーバーハングの削減

⑨ 最低配送ロットの順守  
オンライン受注の推進  
受注締め時間の順守

⑬ 外装表示の標準化